

【第3種郵便物認可】



未来志向の新町誌を

デジタル化・ビジュアライズも重視

町会
仙伊
回第
議審
纂第

〔徳之島〕第一回伊仙町誌編纂審議会（会長・石上英一東京大
学名誉教授、14委員）が5日、同町歴史民俗資料館（同町誌編纂室）
であった。現町誌が刊行され43年、来年（2022年）は町政施行80
周年を迎える同町。専門家らのほか住民への聞き取り調査や資料
収集など「未来志向、住民参加型で24年度までの編纂を目指す。

同町は4月1日付で
町誌編纂室（松岡由紀
室長）を設置して準備
に入った。編纂審議会
は14人、計6分野の編
纂委員は34人で構成。
基本計画、事業計画な
どを審議した第一回伊
仙町誌編纂審議会（5
日、同町歴史民俗資料
館（町誌編纂室））

第一回編纂審議会（二
部リモート参加）で大
久保明町長は「（現）
町誌刊行から43年を経
て社会情勢も大きく変
化。歴史も見直し、未
来志向の町誌刊行に協
力を」などと要請し、
委員委嘱状を交付。当
局（編纂室）の基本計
画案を審議した。

方針・総論一案では、
数々の国指定史跡所在
地および世界自然遺産
登録地として、その人
類史や地形、環境、景
観を入れ込み、「タイ
ナミックにビジュアル
に訴えるよう表現す
る」。全分野を通して
資料の調査・収集を行
い「デジタルアーカイ
ブ化して可能な限り公
開する」。78年発刊の
現町誌も「デジタル版
などで保存・公開」し
つつ、令和版を発刊
する一など強調。

その上で、「本編構
成」は、①通史編（先
史時代、令和時代）②
自然史編（「環境文化
型」人と自然のかかわ
り）③民俗・地域編（伊
仙の暮らし・集落の姿・
伊仙の人）の3部（冊
子）で構成。ほか④デ
ジタル版（伊仙の移ろ
い写真集、島口による
自分史）⑤資料編も
検討する方針だ。

町誌編纂スケジュール
は、▽21年度旧町
誌復刻など▽22年度
（町制80周年）＝80周
年記念誌作成、デジタ
ルチャンネル開設▽23
年度「徳之島学」刊
行▽24年度町誌本編
編集、本編発刊作業
（発刊は以降検討）な
どを見込んでいる。

地元委員からは「研
究者用などのほか、中
学生でも分かり親しみ
学びやすい内容も必
要」、「図や写真もふ
んだんに」、「島口伝
承にも力を」など意見
もあった。